

医学部キャンパス報告

高橋 岳水¹ 川田 延枝¹ 多田 志乃舞¹
 T.Takahashi¹ N.Kawada¹ S.Tada¹
 (香川大学医学部 情報ネットワーク管理室¹)

1. はじめに

情報ネットワーク管理室では医学部キャンパスに於ける情報セキュリティ対応と学部ネットワークの整備などを担当している。

平成 28 年度の活動について報告する。

2. 附属病院再開発対応のネットワーク整備

医学部附属病院は、再開発事業に平成 23 年度から着手しており、事業の進捗に合わせて附属病院内の学内ネットワーク整備を進めている。

2.1 ディストリビューションスイッチ移設

附属病院内のネットワークの中心となる EPS の新設工事が平成 28 年 5 月に完成した。新 EPS は広さ約 15 m² で従来の約 2 倍の広さがあり、空調、非常用自家発電設備からのバックアップ電源を備えている。また、上部階で漏水事故が万一発生した場合に設置機器に被害が及ばないように、二重天井になっており、漏水は傾斜した天井で集められ排水される構造が取られている。(図 1)



図 1 附属病院内新 EPS

ディストリビューションスイッチの新 EPS への移設工事を平成 28 年 6 月 25 日に実施し稼働を開始した。再開発工事が完了したエリアのアクセススイッチはディストリビューションスイッチに順次収容しており、また未改修のエリアは旧 EPS で

L2 スイッチで集約後にディストリビューションスイッチに収容する対応を取っている。(図 2)

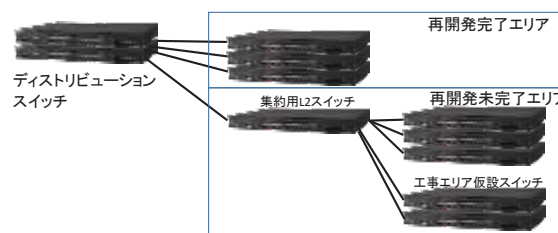


図 2 ディストリビューションスイッチの接続

2.2 附属病院内のアクセススイッチ更新

附属病院で現在稼働しているアクセススイッチは平成 19 年度の導入で老朽化によるトラブルが課題となっている。このため、再開発工事に合わせ、平成 27 年度から 4 年計画で更新を順次進めている。

平成 28 年度は東西病棟、中央診療棟で更新を進めた結果、台数ベースで全体計画の約 56% の進捗率となった。平成 29 年度は外来診療棟、放射線関連棟などの更新を引き続き進める予定である。(表 3)

表 3 附属病院内のアクセススイッチ更新計画

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
東西病棟				
中央診療棟				
外来診療棟				
管理棟				
放射線関連棟				

3. 医学部学生向け無線 LAN の利用状況

医学部キャンパスは無線 LAN 環境を整備しており、ほぼ全域で利用可能である。学生は学内共通サービスの他、講義自動収録システムなど医学部キャンパス独自のサービスでも活用している。

3.1 学生向け無線 LAN の利用申請推移

平成 28 年度の医学部学生向け無線 LAN の新規利用申請は 652 台で、増加率は昨年度より低下しているが平成 26 年度に比べ約 1.7 倍の台数となっている。

新規利用申請の OS 別内訳は平成 26 年度から 3

年間を比較すると Windows、MacOS がほぼ横ばいに対し、Android が約 1.6 倍、iOS が 2.3 倍で増加しており、ほとんどがスマートフォンとタブレットである。(図 4)

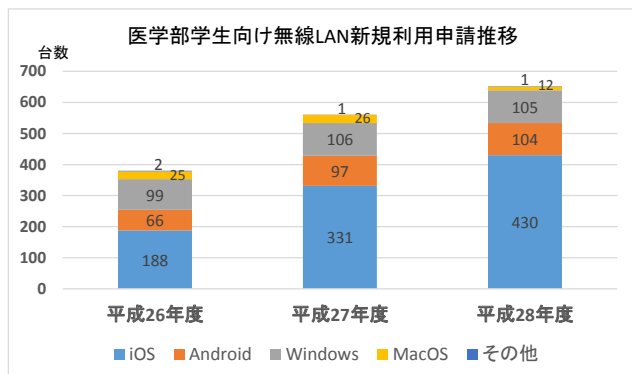


図 4 医学部学生向け無線 LAN 新規利用申請推移

3. 2 利用台数増加の対応

医学部学生向け無線 LAN の同時利用が可能な台数は約 500 台で、平成 25 年 12 月にそれまでの約 250 台からに拡張して運用してきた。しかし、利用台数の急増により平成 28 年度に不足する状況となったため、再度拡張を実施し現在は約 1,000 台まで同時利用が可能となっている。

4. 大学契約ウイルス対策ソフトの利用状況

香川大学では教職員、学生にウイルス対策ソフトの無償提供を実施している。

平成 28 年度医学部学生が新規利用申請時に大学契約のウイルス対策ソフトを利用していたのは Windows が約 33%、MacOS が約 59%であった。(図 5-1. 5-2)

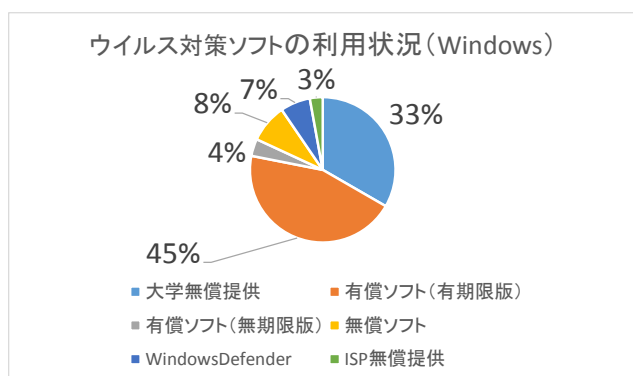


図 5-1 平成 28 年度新規申請時のウイルス対策ソフト利用状況(Windows)

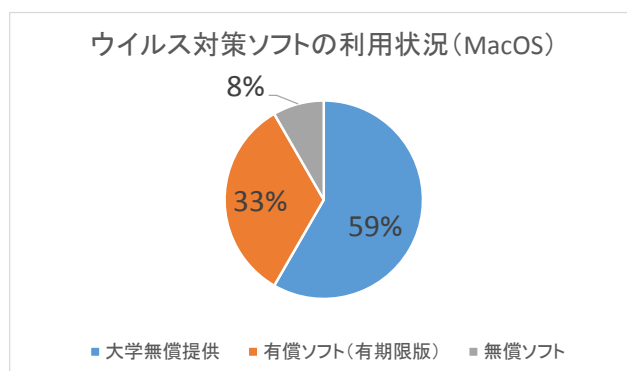


図 5-2 平成 28 年度新規申請時のウイルス対策ソフト利用状況(Mac)

Windows の場合大学契約の他、OS 標準提供の WindowsDefender や ISP の無償提供など選択肢が多いためと思われる。

今後は大学契約ウイルス対策ソフトの機能面なども学生に紹介していきたい。

5. おわりに

本報告では、医学部附属病院再開発対応のネットワーク整備と医学部学生向け無線 LAN の利用状況、大学契約ウイルス対策ソフトの利用状況について述べた。附属病院再開発対応は計画の後半に入っており、引き続き既設建屋の改修が進められる。改修中も診療や業務は継続されるため、影響が出ないよう整備を進める計画である。学生向け無線 LAN は同時利用可能台数の拡張後、問題は発生していない。利用台数の増加は継続しているため、引き続き注視していく予定である。